



澤田 源宏 議員

録画配信はこちら

町長として

Q 今後、成し遂げなければならないことは

A 未来を見据え前向きな意識と取り組みを広げる

答 (町長) 公共施設の最適配置、とりわけ庁舎機能の集約は、町の将来にわたる持続的な発展のために成し遂げなければならぬものであるとの思いのもと、議会の皆様には、特に住民の声、視点ということと様々に議論をしていただいた。この4年間にわたる最適配置の事業には町行政職員ももちろん、私にとっても40代の一人の人間として大変なエ

問 庁舎の一本化をするのとをどのように感じているか。

庁舎の一本化に対する思い

答 (町長) 町長職を預かり6年間、日々生じる様々な課題等に対し、自分自身、真摯に向き合い、町の持続可能な発展のため尽力してきた。

問 町長職としてこの6年間はどうであったか。

町長就任から現在までの状況



庁舎一本化により整備中の新保健センター(7月頃運用開始予定)

エネルギーの投入を要した時期であった。

今後の課題や成し遂げなければならないこと

問 今後の課題や成し遂げなければならないことは何か。

答 (町長) 引き続き成し遂げていきたことは、時代の変化に即した町の新陳代謝を高めること、持続可能性を引き上げることである。

現状を維持する、現状を維持できる、ということの背景には、実はさまざまな努力と覚悟が必要とされるといふことを私達は知っている。

そのままをそのまま繰り返せる日々は、そして、それを未来永劫続けることができるなら、とても幸せであるかもしれない。

しかし、人の命や一生と同じで有為無常の、競争も厳しく変化も速い成熟した世に向けては、教育・文化、仕事や経済のあり方等ソフト分野を含め高付加価値な社会を志向していくことが、より多くの笑顔を守ることになると考えている。

そのため、発想や気付き、



辰巳 保 議員

録画配信はこちら

学校トイレへの生理用品設置は

Q 子どもたちに配慮した環境を整えるべきではないか

A 保健室だけの対応が全てではない

問 駐車場周知看板の撤去により町民に損害をもたらしたことをどのように捉えているのか問う。

答 (町長) 周知の効用は果たした。町議会と議員の求めもあり撤去した。

問 議会は、目的外工事と認識したから撤去を求めた。当初、町長は来年度の整備工事までの設置と説明した。議会対応への食い違いを問う。

答 (町長) 議員の多くが撤去を求めたから応じた。

指定管理者制度

問 ①湖東三山館あいしよの管理運営の努力と貢献度の評価を問う。

②中山道愛知川宿街道交流館の滞在施設への予約日に対する執行部説明の食い違いを問う。

答 (町長) ①観光協会が持つ地域資源を生かした運営により観光振興に努めていただいている。

②仕様書に基づいた各種事業に取り組んでいただいている。宿泊施設の予約は、一週間前までの対応は不十分で宿泊日当日の午前中までに改善した。



湖東三山館あいしよ

高齢者の外出支援

問 自転車の利用は転倒など危ないので、循環バスを走らせてとの町民要望を受け止め、検討を求めます。

答 (町長) 移動手段という公共財に対する投資や費用対効果の観点から、愛のりタクシーの不便さよりも、町内全域の集落内のルート設定などタクシー利用のメリットを高く評価している。

国保税・介護保険事業

問 ①国民健康保険事業 財政調整基金1億9,900万円の運用計画を問う。②介護保険事業準備基金7,000万円。第9期計画に際し、5,000万円を充当し、保険料の抑制を求めます。

答 (町長) ①想定を上回る負担増に対する激変緩和対策や、県内の国保料統一化による被保険者の過重な影響を及ぼさない活用を努める。

②後期高齢者が増え、介護保険サービスの利用も増加傾向になると予測することから、極端な保険料の増額を避けるために有効活用を努める。

小・中学校への生理用品設置

問 子どもたちの心理状態を配慮すると保健室だけではなく、トイレへの常設を求めます。

答 (教育長) 保健室は、いろんな意味で子どもの居場所になっている。養護教諭以外に悩みが言える教員をつくるなどの学校体制が求められている。保健室だけの対応が全てではないと思っている。



現在の女子トイレ

発信力、遂行力を含め人材力を高め、また暮らしを支える共通基盤としてのデジタル化も、町内の暮らしにより浸透していけるよう旗を振っていきたいと思う。

また社会の先輩の方々にも安心していただける態勢の維持継続に、引き続き努めるためにも、行財政改革の取り組みは重要である。

自治会ミーティングで各字を訪問する活動を重ねるなか、住民自治の前線で努力されている皆様の姿に元気をいただき、またいつも頭の下がる思いでいる。自分事としてどこまで地域のことをできるか、課題解決に主体的に参画しようとするか、そういう地域の価値観を改めて根付かせていくことがこれからの町の浮沈を握り、未来を形作ると思う。

行政のハコモノを建てると良い、とかいう時代では既になくなっていくと考える。未来を見据え前向きな意識と取り組みがより広がるように、各種の施策を重ねていきたいと考えている。